

働き続けられる心と身体、職場をつくろう

いの健@ネット 2011.12.12

発行2011年12月

生協労連いのちと健康を守る対策委員会

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-1-9 南部ビル3F

TEL. 03-3408-0067 FAX. 03-3408-8955

QYG03057@nifty.com

年末年始に向けて「職場総点検」をしましょう 職場の安全は確保されていますか

腕を切断する重大事故発生

年末年始に向けて、仕事もより忙しい時期となってきました。そうした中、ある生協のミートセンターで、右手をミンチ処理機に引き込まれて、肘から先を切断するという重大事故が発生しました。現在、事故調査をしていますが、メンチカツを作る作業を始めるとき、機械を止めずに、ミンチ処理機に残っていた合い挽きミンチを取り除こうとしました。その際、ゴム手袋が何かに引っかかり、機械に巻き込まれてしまいました。

事故が起きた背景を探ること

ここ数年、他の生協の店舗でもスライサーやミンチ用の機械で、指や手を切断する同種の重大事故が発生しています。

今回の事故では、機械を止めずに合い挽きミンチを取り除こうとしたのですが、なぜ、本人がそのような行為をしてしまったのか、その背景にあることを見つけて、対策を打たなくては、重大事故は繰り返されます。

「働き方」「働かせ方」の総点検を

今回の重大事故に限らず、この間、人命を失うような交通事故も発生しています。その背景には、長時間労働による疲労の蓄積や睡眠不足、過重な仕事量、パワハラまがいのマネジメントなど、職場における「働き方」「働かせ方」に潜在的な要因があります。

以前の労災防止対策は、発生した労災の原因を調査し、再発防止のための対策を立てて、職場に周知・徹底するというのが基本でした。しかし、労災が起きていなくても、職場には潜在的な危険・有害があり、そこに対策を講じなくては労災の起きる可能性があります。そうした危険・有害を事前に取り除いて予防することが、重大事故の発生の芽を摘むこととなります。職場の危険箇所を各分門の労働者全員が一つ出し合って改善することから、「リスクアセスメント」のとりくみまで、いまできることから、年末年始に向けて、あらためて「働き方」「働かせ方」を点検しましょう。